

平成30年1月25日  
18.01.23 中機財第7号

入札説明書（一般競争入札 最低価格落札方式）

件名 事務管理センター建築物等保全業務（平成30～32年度）

平成30年2月6日  
財務部 調達・管理課

## 入札説明書（一般競争 最低価格）

独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）の「事務管理センター建築物等保全業務（平成 30～32 年度）」の請負先公募については、関係法令並びに中小企業基盤整備機構会計規程（以下「会計規程」という。）及び中小企業基盤整備機構契約事務取扱要領（以下「要領」という。）並びに中小企業基盤整備機構競争契約入札心得（以下「入札心得」という。）に基づくもののほか、下記に定めるところによる。

### 記

#### 1. 調達内容

##### (1) 件 名

事務管理センター建築物等保全業務（平成 30～32 年度）

##### (2) 調達件名の特質等

仕様書による

##### (3) 業務（契約）期間

平成 30 年 4 月 1 日（予定）から平成 33 年 3 月 31 日まで（3 年間）

##### (4) 履行場所

仕様書のとおり

##### (5) 入札方法

入札金額は、仕様に基づき費用の総額とする。

なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 8%に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の 108 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

入札金額が仕様に基づく総額でない価格を記入したことが判明した入札書については、理由の如何を問わず無効とする。

#### 2. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 中小企業基盤整備機構契約事務取扱要領第 2 条及び第 3 条の規定に該当する者でないこと。

(2) 中小企業基盤整備機構反社会的勢力対応規定（規定 22 第 37 号）第 2 条に規定する反社会的勢力に該当する者でないこと。

(3) 中小企業基盤整備機構平成 29・30・31 年度競争参加資格審査において、「役務の提供等：建物管理等各種保守管理（3309）」の業種区分に登録された者で「A」又は「B」の等級に格付けされている者であること。なお、新たに入札参加資格を得ようとする者にあつては、下記の申請場所に必要書類を添えて申請すること。

※なお、申請書類の提出後、上記資格等級が判別されるまでの期間は「資格有」としてみなすので、期日を定める手続きのある場合はその日程により手続きを行うこと。但し、その後の審査において資格等級が合致しない結果となった場合については、その段階で資格無しとなる。

①申請場所

〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル7階  
独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課  
電話 03-5470-1507 FAX 03-5470-1512

②申請書類

書類は、中小企業基盤整備機構平成29・30・31年度競争参加資格審査提出要領に基づき作成すること。  
なお、必要書類については当機構ホームページ「入札・契約情報／資格審査」  
<http://www.smrj.go.jp/org/info/bid/qualification/index.html>の頁から入手すること。

③申請期限

平成30年2月13日（火）17:00（郵送の場合は必着）

(4)警備業法第4条に定める都道府県公安委員会の認定を受けている事業者であること。

(5)施行実績

平成25年1月1日から平成29年12月31日までに、元請けとして清掃対象面積が1,000㎡以上の計算センター（電算機室含む）の日常清掃及び定期清掃を12ヵ月以上継続して履行した実績を有すること。

(6)本社、支店又は営業所の所在地等

東京都、埼玉県又は神奈川県に本社、支店又は営業所のいずれかを有し、かつ、当該事業所において「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の事業登録を受けた者であること。

(7)入札説明会に出席した者であること。

3. 仕様書等の交付、事務管理センターの事前視察

(1) 交付期間 平成30年1月26日（金）～平成30年2月5日（月）17:00まで

(2) 交付場所 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル7階

独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課（担当者 中村）

電話 03-5470-1507 FAX 03-5470-1512

(3) 事務管理センターの事前視察

ア 事前視察の依頼・連絡

事前視察を希望する者は、事務管理センター（担当者 小原）（電話：042-590-7321）あてに視察希望日時、参加者氏名、連絡先を電話連絡すること。

イ 事前視察の日程

平成30年1月26日（金）～平成30年2月5日（月）10:00～16:00（受付時間）

4. 入札説明会

入札説明書及び仕様書に係る説明会については、次のとおり開催する。

(1) 日時：平成30年2月6日（火）14時00分～

(2) 場所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル 中小企業基盤整備機構 2階 2L会議室

・入札説明会への参加を希望する者は、平成30年2月5日（月）17:00までに

独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課（担当者 中村） e-mail :

[chotatsu@smrj.go.jp](mailto:chotatsu@smrj.go.jp)あてに「会社名・出席者名・連絡先」をメール送信のうえ、電話連絡すること。

**※入札説明会に参加しない者および欠席した者は、本件入札に参加できない。**

## 5. 入札参加資格証明資料の提出について

入札に参加しようとする者は、2. 競争入札に参加する者に必要な資格(1)～(6)までの条件を全て満たすことを証明する資料として、入札説明書(様式集)別紙(8)「入札参加資格証明資料」(以下「証明資料」という。)に必要な事項を記載のうえ、下記に従い提出しなければならない。

また、開札日の前日までの間において、分任契約担当役から証明資料に関して、説明を求められた場合は、自己の負担において速やかに書面をもって説明しなければならない。

- (1)提出期限 平成30年2月13日(火) 17:00まで(必着)  
**※上記期日までに提出が無かった場合は、本件入札に参加できない。**
- (2)提出場所 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル7階  
独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課(担当者 中村)
- (3)提出部数 紙媒体:正1部
- (4)提出方法 証明資料の提出は、上記(2)の場所に直接持参することとし、郵送やメール等による送付は受け付けない。
- (5)注意事項 証明資料には上記2.(3)～(6)までの事項を確認できる契約書(写し)等の資料及び清掃面積が確認できる算定根拠資料を添付すること。  
なお、(5)の実績の記載については、別紙(8)「清掃業務実績証明書における清掃契約実績記載要領」に基づくものとする。

## 6. 仕様書等に関する照会

仕様書等について質問がある場合、入札説明書(様式集)別紙(2)、(3)「質問書、質問書(別紙)」を作成のうえ、平成30年2月13日(火)17時00分までにメールし、担当あてに連絡すること。

(連絡先) 〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル 7階

独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課(担当:中村)

電話 03-5470-1507 F A X 03-5470-1512 e-mail: [chotatsu@smrj.go.jp](mailto:chotatsu@smrj.go.jp)

なお、質問のない場合については、質問書の提出は不要である。回答は質問が提出された場合のみ、平成30年2月15日(木)説明会参加者あてe-mailにて回答する。

## 7. 入札書等の提出方法及び場所等並びに開札に立ち会う者に関する事項

入札は、直接持参するものとする。

なお、代理人をして初度の入札書等の提出並びに開札の立会いをさせるときは、その委任状[記入例別紙(4)]を提出しなければならない。

委任状の代表者印については、記入例のとおり当機構へ競争参加資格申請を行った際に登録した使用印鑑届出印によるものとし、復委任状、使用印鑑変更届等の提出のない異なる代表者印等で押印されたものについては、その委任状、入札書が全て無効(失格)となるので注意すること。

(1) 初度入札書及び委任状の提出

- ・様式：機構の指定する別紙(5) [記入例] の入札書 (A4縦) とする。
- ・初度入札の入札書は封緘し、入札件名、会社名、代表者名、代理人氏名並びに連絡先を表記すること。封筒については別紙(6)参照。

(2) 提出場所

平成30年2月20日(火) 14時00分から入札、開札を行うので、下記の場所へ持参すること。

- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構 2階 2L会議室

8. 開札及び価格評価、落札者決定方法

- (1) 開札については、上記7.(2)による日時場所において行い、機構の定める予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

但し、予定価格に対し著しく低い金額により入札が行われた場合にあっては、入札金額内訳等の調査等を行った上で落札者を決定する場合がある。

- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が二人以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

なお、入札者又は代理人が立ち会わない場合は、これに代わって入札執行事務に関係のない職員がくじを引いて落札者を決定する。

- (3) 開札をした場合において、各人の入札のうち、当機構の定める予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、初度入札を含め3回を限度として直ちに再度の入札を行う。

なお、この入札手続きにおいて失格となった者及び無効入札者については、原則として再度入札に参加することはできない。

ただし、予定価格と応札額が著しく乖離している場合は、再度の入札を行わず不調として入札を中止する場合がある。

- (4) 入札金額については、本書並びに入札公告において仕様に基づく総額としている。開札をした場合において、入札金額がこれ以外の標記がなされていたと判明した場合、理由の如何を問わず、入札書は無効とする。また、状況によっては当該入札以後に当機構で行われる一般競争入札等(本件入札を含める)に参加することができない場合がある。

9. 入札保証金及び契約保証金

全額免除

10. 契約書の作成

落札者決定後、担当課によって策定された請負要領もしくは仕様書により契約締結の手続きを行う。

(原則として契約日は、この要領等を策定した日以降となる。)

契約書は、2通を作成し、双方各1通を保有する。

11. 不当介入の通報等

- (1) 落札者は、本契約を履行する上で暴力団等反社会的勢力により不当要求又は工事等の妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。

- (2) 上記(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により中小機構に報告すること。
- (3) 発注工事等において、不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、中小機構と協議を行うこと。

## 12. 支払いの条件

業務完了を確認後、適正な支払請求書を受理した場合には、受理した日から30日以内に支払うこととする。

## 13. 契約担当者等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地

独立行政法人中小企業基盤整備機構

分任契約担当役

財務部長 饒平名 知克

(〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 (虎ノ門37森ビル7階))

※契約手続きの問い合わせについては、上記の者でなく下記16.(3)の先へ問い合わせること。

## 14. 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

## 15. 入札心得

入札心得については、当機構ホームページ「入札・契約情報／発注予定工事・契約関係書類／契約関係書類」の頁 <http://www.smrj.go.jp/org/info/bid/order/index.html> に掲載されているので、適宜参照すること。入札心得に記載されている事項については、この入札説明書において必要とされる事項を各項において標記しているが、この説明書を補完する条文は、第2(公正な入札の確保)、第2の2(談合等不正行為があった場合の違約金等)、第3(入札の取り止め等)、第5(入札書の引き換え等の禁止)、第6(入札の無効)であり、このほか本入札に適合しない項目及び様式等については、本説明書、請負要領によるものとする。

## 16. その他注意事項

- (1) 今回の入札を通じて入札者が知り得た情報は、第三者に漏洩してはならない。
- (2) 機構より配布した入札説明書、仕様書等は、本入札終了後、ただちに返却すること
- (3) 手続きに関する照会先

この説明書及び入札手続の中で質疑等がある場合には、以下照会先に連絡(電話・FAX可)すること。ただし、仕様等に関する質疑については、6.仕様書等に関する照会の注意事項を参照すること(電話・FAX不可)。

・照会先：〒105-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル7階

独立行政法人中小企業基盤整備機構 財務部 調達・管理課

「事務管理センター建築物等保全業務(平成30~32年度)」入札担当者 中村あて

電話 03-5470-1507 FAX 03-5470-1512

※原則として入札の前日まで業務時間内随時受け付けとする。

(4) 本件入札については、請負先決定後、中小企業基盤整備機構が請負先機関と契約を締結する段階で、金額の内訳を提出することとする。

この際、事業の目的・内容・性質から見て明らかに必要のない経費が内訳として計上されていた場合には、減額をすることがある。

\*修正対象となる具体例

- ・運賃、通信費等内税標記の単価、非課税取引の物件を割り戻しなく計上しているもの。
- ・当方趣旨から乖離したキャパシティで実施する業務、物件調達。
- ・積算根拠のない単価を計上した人件費、諸謝金、会議費、旅費宿泊費等。

(当方の執行単価から著しく乖離しているものについては、根拠資料をもってしても修正とする場合がある)

・一般管理費については、当方積算根拠により会場費及び広告宣伝費を除いた小計の10%を上限とする(管理費対象経費の指定、上限以下の管理費率の採用については任意とするが、契約時に設定した諸経費率が確定検査の時に適用される)。

(5) 本件入札について、入札前に辞退する場合は、別添入札辞退届兼書類返却届〔記入例 別紙(7)〕に入札説明書等配布書類一式を添えて、上記(3)の場所に提出すること(郵送でも可)。

●中小企業基盤整備機構競争契約入札心得（該当部分抜粋）

（公正な入札の確保）

第2 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはなりません。

2 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければなりません。

3 入札参加者は、落札者の決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはなりません。

（談合等不正行為があった場合の違約金等）

第2の2 第8に定める落札者が、次の各号の一に該当したときは、落札者は、契約担当役の請求に基づき、請負代金額の10分の1に相当する額を違約金として契約担当役の指定する期間内に支払わなければなりません。

一 契約に関し、落札者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第3条の規定に違反し、又は落札者が構成事業者である事業団体が同法第8条第1項第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が落札者に対し、同法第7条の2第1項の規定に基づく課徴金の納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき。

二 契約に関し、落札者（法人にあっては、その役員又は使用人）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の3又は私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第89条第1項若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき。

2 前項の規定に該当した場合は契約を取り消す場合があります。

3 第1項に規定された条項は履行後も有効となります。

（入札の取り止め等）

第3 入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することが出来ないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取り止めることがあります。

（入札書の引換え等の禁止）

第5 入札参加者は、入札書をいったん入札箱に投入した後は、開札の前後を問わず、引換え、変更又は取消しをすることはできません。入札者の意思表示の内容は、入札書に表示された文字により判断しますから、見積り誤り、書き誤り、その他の動機の錯誤等を理由として入札の無効を主張することはできません。

（入札の無効）

第6 次の各号の一に該当する入札は、無効とします。

一 入札金額を記載していない入札又は入札金額を訂正した入札

二 記名又は押印のいずれかを欠く入札

三 誤字又は脱字等により意思表示が不明瞭な入札

四 入札に参加することができない者がした入札

五 委任状を入札前までに提出していない代理人名の入札

六 2通以上の入札書をもってした入札

七 明らかに連合によると認められる入札

八 同一事項の入札について、他人の代理人を兼ね又は2人以上の代理をした者の入札

九 再度の入札において、前回の最低入札金額と同額又はこれを超える金額をもってした入札

十 機能証明書等を添付することとされた入札にあっては、当該機能証明書等が審査の結果採用されなかった入札

十一 調達物品と同等のものであることを証明する必要がある入札にあっては、同等のものであることを証明できなかった入札

十二 その他入札に関する条件に違反した入札



●中小企業基盤整備機構契約事務取扱要領（抜粋）

（一般競争に参加させることができない者）

第2条 契約担当役（分任契約担当役を含む。以下同じ。）は、売買、貸借、請負その他の契約につき会計規程第30条の競争（以下「一般競争」という。）に付するときは特別の理由がある場合を除くほか、当該契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者を参加させることはできないものとする。

（一般競争に参加させないことができる者）

第3条 契約担当役は、次の各号の一に該当すると認められる者を、その事実があった後3年以内の期間を定めて一般競争に参加させないことができるものとする。これを代理人、支配人その他の使用人として使用する者についても、また同様とする。

- 一 契約の履行に当たり故意に工事若しくは製造を粗雑にし、又は物品の品質若しくは数量に関し不正行為をした者
  - 二 公正な競争の執行を妨げた者又は公正な価格を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者
  - 三 落札者が契約を締結すること又は契約の相手方が契約を履行することを妨げた者
  - 四 監督又は検査の実施に当たり職員の職務の執行を妨げた者
  - 五 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者
  - 六 前各号の一に該当する事実があった後2年を経過しない者を、契約の履行に当たり、代理人、支配人、その他の使用人として使用した者
- 2 契約担当役は、前項の規定に該当する者を入札代理人として使用する者を一般競争に参加させないことができる。

●中小企業基盤整備機構反社会的勢力対応規程（抜粋）

（定義）

第2条 この規程において反社会的勢力とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。

- 一 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
- 二 暴力団員（暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
- 三 暴力団準構成員（暴力団員以外の暴力団と関係を有する者であつて、暴力団の威力を背景に暴力的不法行為等を行うおそれがあるもの又は暴力団若しくは暴力団員に対し資金、武器等の供給を行うなど暴力団の維持若しくは運営に協力し、若しくは関与するものをいう。以下同じ。）
- 四 暴力団関係企業（暴力団員が実質的にその経営に関与している企業、暴力団準構成員若しくは元暴力団員が経営する企業で暴力団に資金提供を行う等暴力団の維持若しくは運営に積極的に協力し若しくは関与するもの又は業務の遂行等において積極的に暴力団を利用し、暴力団の維持若しくは運営に協力している企業をいう。）
- 五 総会屋等（総会屋その他企業を対象に不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう。）
- 六 社会運動等標ぼうゴロ（社会運動若しくは政治活動を仮装し、又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう。）
- 七 特殊知能暴力集団等（暴力団との関係を背景に、その威力を用い、又は暴力団と資金的な繋がりを有し、構造的な不正の中核となっている集団又は個人をいう。）
- 八 前各号に掲げる者と次のいずれかに該当する関係にある者

- イ 前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営を支配していると認められること
- ロ 前各号に掲げる者が自己の事業又は自社の経営に実質的に関与していると認められること
- ハ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって前各号に掲げる者を利用したと認められること
- ニ 前各号に掲げる者に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること
- ホ その他前各号に掲げる者と役員又は経営に実質的に関与している者が、社会的に非難されるべき関係にあると認められること

【参考】入札に関する諸規定の内容は、インターネットから閲覧できる。

- 中小企業基盤整備機構会計規程、中小企業基盤整備機構契約事務取扱要領、政府調達事務取扱要領  
<http://www.smrj.go.jp/org/info/bid/contract/index.html>
- 中小企業基盤整備機構競争契約入札心得  
<http://www.smrj.go.jp/org/info/bid/order/index.html>
- 中小企業基盤整備機構「反社会的勢力に対する基本方針」  
<http://www.smrj.go.jp/org/policy/index.html>